

アースバランサ MZCR-EB、EBN 取扱説明書

1. 機能・特徴

本製品は、異なる接地間に接続し、異なる一方の接地に雷サージが流入した際に発生する接地間の電位差を等電位化するための製品です。

本製品は、接続する接地線の端末処理により、異なります。

- ・ MZCR-EB 電線の被覆を剥いた状態で、そのまま締め付け方式。
- ・ MZCR-EBN 丸形圧着端子により接続する方式。

2. 仕様

本製品の仕様を表1に示します。

表1

項 目	性 能
分 類	クラス 2L
インパルス放電電流 I_{imp}	10/350 μ s 10kA
公称放電電流 I_n	8/20 μ s 60kA
電圧防護レベル U_p	1kV 以下
絶縁抵抗	100M Ω 以上 (DC500V)
質 量	約 115g

※ 絶縁抵抗は、サージが印加されていない状態での値になります。

3. 外観および寸法

製品の外観図と回路図を図1に示します。

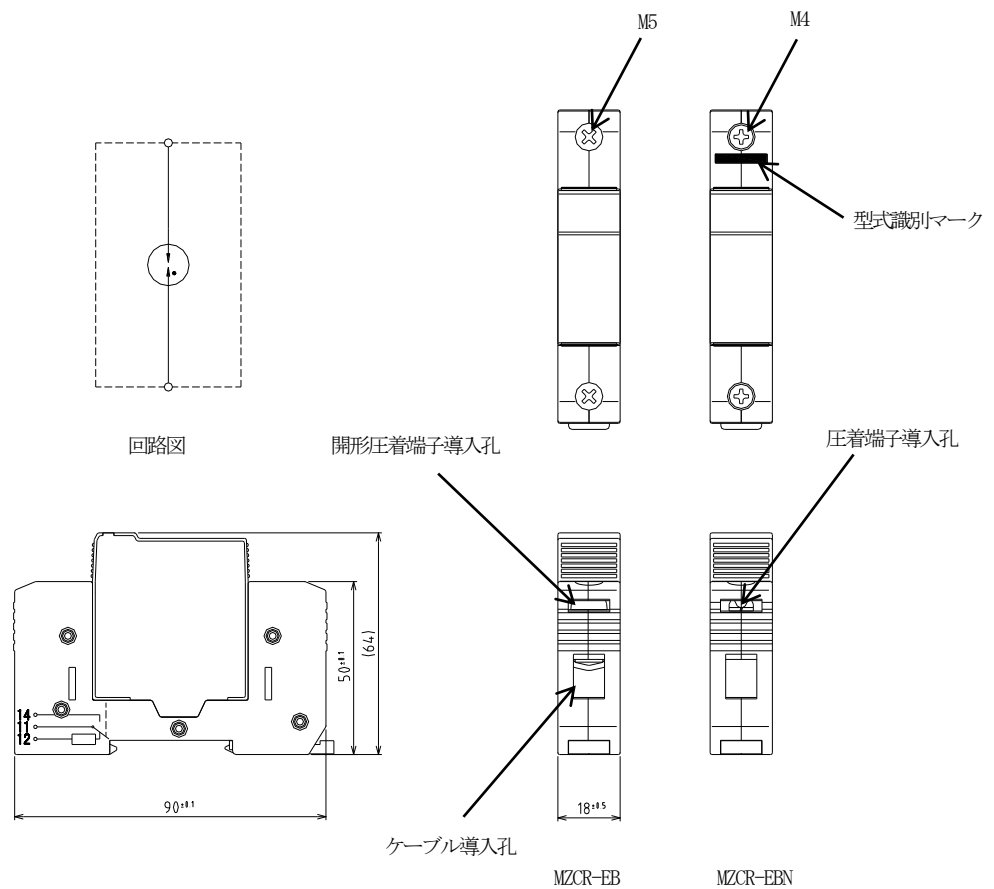


図1

4. 取り付け方法

DIN レール (35mm 幅) に取り付ける場合、以下の手順で固定してください。

[取り付け方]

- A 部を DIN レールの端に引っ掛け。
- B 方向へ押し込んでください。

[取り外し方]

- C 部にマイナスドライバー等を差し込み、
- D 方向に引きながら E 方向に SPD を外してください。

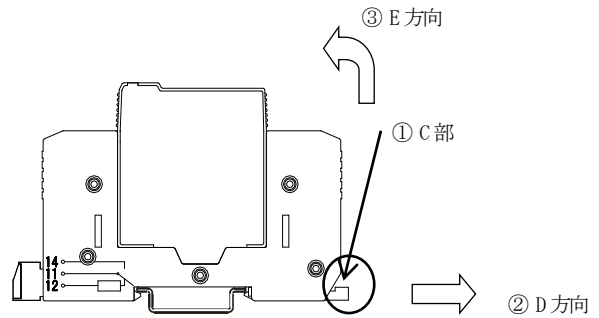
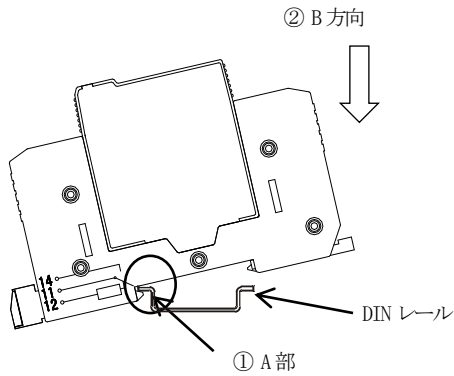


図2

5. 接続 (配線) 方法

5-1. MZCR-EB 形

- ・ケーブル導入孔：より線、単線ともに AWG14~4 (断面積 1.6~22mm²) (推奨 5.5 mm²)
 推奨締付けトルク 1.47~1.96N・m (15~20kgf・cm)
 電線 (図3) の先端が、突き当たるまでケーブル導入孔に入れてください。
- ・開形圧着端子導入孔：開形圧着端子 M5 用 幅 12mm 未満

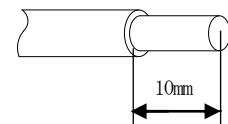


図3

5-2. MZCR-EBN 形

図4、ねじは本体から外れます。ドライバーは先端が磁石になっているものを使用する事をお勧めします。

- ・丸形圧着端子 M4 用 幅 12mm 未満。推奨電線 AWG14~4 (断面積 1.6~22mm²) (推奨 5.5 mm²)
- ・推奨締付けトルク 1.27~1.96N・m (13~20kgf・cm)

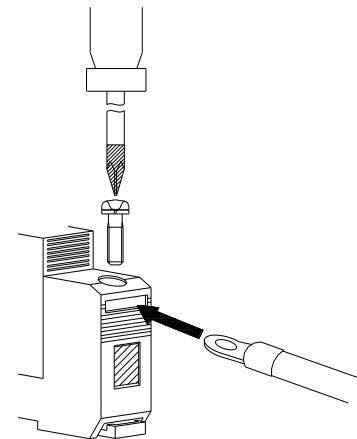


図4

6. 接続例

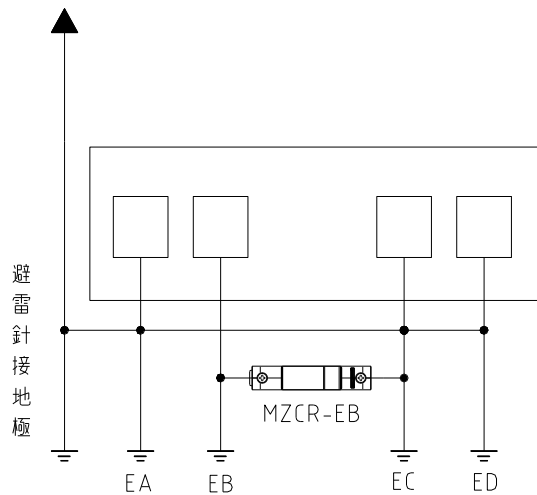


図5

7. 保守点検

本製品の設置・配線後は端子部に緩みがないことを確認してください。1年に1~2回程度点検することを推奨します。

- (1) 目視により外観を確認。
- (2) 絶縁抵抗計、Vs テスターにて特性確認（測定時は線路より SPD を切離して下さい）。

※判定基準 絶縁抵抗：DC500V で500k Ω 以上、Vs：700~1000V

- (注) 本製品は異種接地間に使用するためのものです。異種接地間に必ず接続されていることを確認してください。
- (注) 点検時に劣化が確認されたら直ちに新品と交換してください。ケースを外したり分解しないでください。劣化の原因が正確に把握できなくなる事があります。

8. 保証

本製品の保証期限はご納入日より1年です。この間に発生した故障は、原因が明らかに当社の責任と判断された場合に限り良品と交換いたします。

9. 使用上の注意

使用上、重要な内容ですので、よくお読みの上、必ずお守り下さい。

	本製品の使用目的以外での使用は絶対しないで下さい。 ◇故障の原因となります。
	本製品は屋内用で非防水です。屋外などの水が直接当たる場所での使用はできません。 ◇故障の原因となります。
	本製品を分解、加圧変形、使用環境以上の加熱、改造または部品を変更して使用しないで下さい。 ◇故障の原因となります。
	操作時に端子間に異物が侵入することや、端子部分には直接手で触れることがないようにしてください。 ◇故障、感電の原因となります。
	本製品を水、シンナー等の溶剤で拭いたり、かけたりしないで下さい。 ◇変形や割れ、故障の原因となります。
	本製品には、落下等による衝撃を与えないで下さい。 ◇損傷、故障の原因となります。
	配線した電線及び本製品にストレスをかけないで下さい。 ◇故障の原因となります。
	作業を行う際はブレーカー等を切り、電源が入っていない事を確認してから作業を実施してください。 電源が入った状態で着脱等は行わないで下さい。 ◇感電事故の危険があります。
	本製品の汚れは、柔らかい布等で拭いて下さい。 (水洗いは絶対しないで下さい)
	本製品への装着は取扱説明書をよく読んでから行って下さい。 ◇変形、割れ、故障の原因となります。
	本製品の劣化が確認された場合、新しい製品と交換してください。 ◇お客さまの装置を保護できません。

お問い合わせ先

株式会社サンコーシャ
<https://www.sankosha.co.jp/>
info@sankosha.co.jp



問い合わせ先案内は、左の二次元コードか、
URLの弊社ホームページをご覧ください